

アルバックとは

アルバックの軌跡 5

アルバックの事業領域 7

アルバックの価値創造<プロセス> 9

アルバックの価値創造<提供価値> 11

アルバックの価値創造<価値の源泉> 13

連結財務・非財務ハイライト 15

アルバックが目指すもの

トップコミットメント 19

中期経営計画の見直しと成長戦略について 23

特集
グローバルなシナジー効果を
最大化するために 25

真空機器事業 ① 27
FPD及びPV製造装置

真空機器事業 ② 28
半導体製造装置

真空機器事業 ③ 29
電子部品製造装置

真空機器事業 ④ 30
一般産業用装置

真空機器事業 ⑤ 31
コンポーネント

真空応用事業
材料／その他 32

価値創造基盤

マネジメント体制 33

コーポレート・ガバナンス 35

コンプライアンス 37

リスクマネジメント 38

品質保証・製品安全 39

調達 40

人財 41

労働安全衛生 45

環境 46

社会貢献活動 48

財務データ／企業情報

経営成績 49

連結貸借対照表 51

連結損益計算書／連結包括利益計算書 53

連結キャッシュ・フロー計算書 54

会社データ／株式情報／グループ会社一覧 55



編集方針

持続的成長と企業価値向上に向けた当社の1年間の取り組み、中長期的に目指す姿、経営姿勢を総括し、「アルバックバリューレポート」として発行しています。これらをステークホルダーの皆様にご理解いただくとともに、対話を深める重要なツールと位置付けています。

■ 発行：
2018年11月(前回発行2017年11月)

■ 参考にしたガイドライン：
ISO26000；2010(Guidance on social responsibility)第1版
国際統合報告評議会(IIRC)国際統合報告フレームワーク

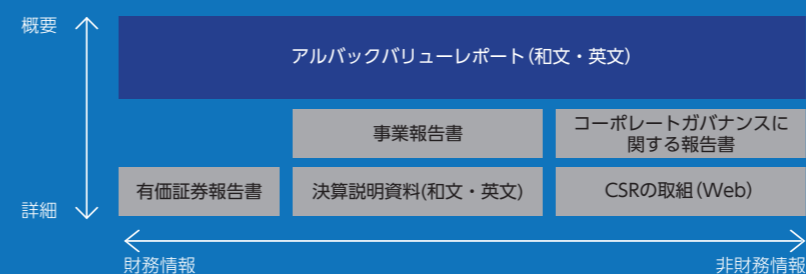
対象範囲と期間

対象範囲：アルバックグループ
アルバックグループを対象としていますが、一部対象範囲が異なる箇所は、その旨を明記しています。

対象期間：2018年6月期
(2017年7月1日～2018年6月30日：当社2017年度)
報告の一部に、2018年7月以降の活動と取り組み内容も含まれます。

〈免責事項〉
本レポートに記載されている表やグラフの数値は、四捨五入して表記しているため、合計値と異なる場合があります。また、対象範囲の拡大や算出方法の見直しに伴い、一部過年度データを修正している箇所があります。

アルバックのコミュニケーション



皆さまのニーズに合わせたコミュニケーションツールをご用意し、最適な情報開示を行っています。当社グループへのご理解を深めていただくため、決算情報を中心とした法定開示書類関係から、事業活動や経営戦略・財務情報に加え、企業価値を創出する上で欠かせない社会・環境への取り組みなどの非財務情報を記載した本レポートなど、様々なコミュニケーションツールをご用意しています。なお、Webサイトでも最新の情報も提供していますので、あわせてご覧ください。